

■履修モデル：建築士の資格取得をめざす。
 (建築・建設関連への就職・編入学)

- ・建築士資格取得に必要な建築系科目(建築士指定科目)を中心に履修する。
- ・資格試験や編入試験対策として、1年次に専修科目を多く履修する。
- ・建築・建設系学部・学科への編入学をめざす場合は、「数理科学」を履修することが望ましい。
- ・広い教養を身につけるには、環境系科目や福祉・心理関連分野も適宜、履修することが望ましい。

【履修例】

区分		1年次	2年次	
		科目名	科目名	
基礎科目	語学基礎	・語学Ⅰ (英語、ドイツ語、フランス語、中国語)		
	専修基礎	・生活科学概論		
共通科目		・心理学 ・環境論 ・情報処理実習Ⅰ・Ⅱ	・自然と科学 ・美学 ・比較文化論 ・情報と社会 など	
専修科目	生活基礎	・住生活論 ・生活と環境	・生活経営 ・地域づくり実践(2年次) など	
	福祉・心理関連分野 (専修第一分野)	適宜		
	居住環境関連分野 (専修第二分野)	建築系科目	・インテリアデザイン ・建築製図基礎 ・住生活設計Ⅰ ・居住計画論 ・居住福祉論 ・建築法規 ・居住設備学 ・建築環境学 ・建築一般構造 ・建築計画 ・建築構法 ・構造力学Ⅰ ・構造力学Ⅱ ・建築材料学 ・建築生産 ・住環境計画 ・地域環境学 ・建築CAD基礎	・住生活設計Ⅱ ・まちづくり企画 ・まちづくり設計 ・建築史概論 ・都市計画論
		環境系科目	適宜	
	その他	・数理科学 ・居住環境基礎(1年次)	・地域政策論Ⅰ	
演習		・居住環境特別演習		

(注意)

この履修モデルはあくまで参考例として示すものであり、この通りに履修する必要はない。
 卒業要件や資格取得要件を念頭に、時間割とシラバスを確認の上、履修科目を選択すること。
 1年間に履修できる単位数は50単位までであるため、計画的に履修すること。
 履修申告書を提出する前に、クラス担任(教員)のチェックを受けること。